

平成24年度千葉県防災会議

1. 千葉県防災会議の概要

日 時 平成24年8月6日（月）10時30分から10時58分まで

場 所 千葉県庁本庁舎5階大会議室

出席者 千葉県防災会議委員

2. 議事概要

「千葉県地域防災計画の修正（案）」について、事務局からの説明後、特に意見等はなく、修正（案）のとおり千葉県地域防災計画の修正を決定した。

その他において、委員からいただいた意見等は次のとおり。

- 先日、総合防災拠点のあり方検討会が開催され、その内容が新聞に掲載されていたが、総合防災拠点については、消防職団員などの防災教育を行う消防学校と防災センターを1箇所を設置するほか、複数地域に救援物資の集配拠点などを設ける防災支援ネットワークを整備することとして、7つのゾーン分けするイメージ図が掲示され、有事の際に円滑に支援する構想が示された。

今後、地域の関わり方などについて、マニュアルの作成などによる具体化が大切と思われるが、県の考えをお聞かせ願いたい。

- 今回お示しし、承認いただいた千葉県の地域防災計画は、千葉県域全体の総合的な防災対策の推進という目的を基に作成している。

この計画に基づき、今後、具体的な各種災害対策を実施する上では、今お話があったような、発災時における活動要領などのマニュアルが必要である

と認識している。

県庁の各部局においても、今回の地域防災計画の見直しに併せて、各部マニュアル等の整備を進めているところである。

各防災関係機関においても御協力をお願いしたい。

- 今後、具体的な施策展開にあたり、事業継続体制の強化について、要望したい。

地域防災拠点あるいは災害拠点病院等の重要施設の自家発電設備への燃料供給に際して、今回の東日本大震災においても、私どものエリアの中では、ガスの供給停止が発生しなかった。

耐震性に優れた中圧ガス導管を活用し、燃料の備蓄なしに電源の継続的な確保ができる、これが自家発電設備の強化につながるものとする。

今後、具体的な施策を展開される際には、震災時の電源安定確保を強化する観点から、既にある耐震性の高いライフライン設備の有効活用についても検討していただきたい。

- 災害発生時には、応急対策活動の拠点となる防災拠点や災害拠点病院などの施設において応急活動を継続するために必要な電源の確保が不可欠であるとする。

各施設においても、非常用電源の整備等の対策を進めているものと思われるが、ただ今御提案のあった既存のライフライン設備の有効活用という点についても、電源確保の選択肢の一つとして考えられるので、各施設を所管している関係機関においても、必要に応じて、御検討いただければと考えている。